

## 平成30年度 放課後子ども総合プラン運営委員会 会議録

日 時：平成31年1月31日(木) 午前9時55分～午前11時37分

会 場：袋井市役所 302会議室

出席者：萩原早苗委員長、内藤君夫副委員長、大浦まゆみ委員、深澤康隆委員、  
小久保秀樹委員、平尾靖彦委員、遠藤紀美子委員、港京子委員、中尾雅子委員、  
豊田君子委員（欠席者なし）

### 【会議次第】

#### ○報告事項

- 1 放課後子ども総合プランの概要について
- 2 放課後子ども総合プラン実施状況について  
(1)放課後子ども教室実施状況  
(2)放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)実施状況

#### ○その他

地域学校協働本部について

---

### 【報告事項】

- 1 放課後子ども総合プランの概要について（事務局説明）  
質疑・意見なし

- 2 放課後子ども総合プラン実施状況について（事務局説明）  
〈質疑・意見〉

#### ○副委員長

放課後子ども教室の活動を知らなかった。小学校によっては放課後子ども教室のスタッフや参加者の人数が少ないところがあるが、何か原因があるのか。

#### ○委員

今年度の放課後子ども教室の参加者は、20人後半であり、スポーツを中心に安全を確保しながら活動している。活動を支えるスタッフは多くないので、スタッフは活動を見守る側にまわり外部から講師を招くなど、取り組み方を工夫した。スタッフは、活動を通して子どもたちから元気をもらっている。放課後児童クラブとも連携していきたい。一斉下校日の水曜日を放課後子ども教室の活動日としているが、この日に友達同士で遊んだり習い事に通う児童も多いため、参加者減少の要因になっている。

#### ○事務局

放課後児童クラブの定員は概ね40～50人である。本市の放課後児童支援員等は、児童10～15人につき概ね1人配置している。小学校の放課後という不規則な勤務の中で、学校支援員など学校や地域の方にもそれぞれ御協力をいただいている。本年度は定員の拡大に向け施設整備を実施しており、来年度開所予定の放課後児童クラブの担い手についても御協力いただける方がいればぜひ御紹介いただきたい。

#### ○委員

放課後子ども教室の実施校の拡大について、三川キッズが入っていないのはなぜか。また、今井小学校放課後子ども教室における昨年度との違いは、保護者がスタッフに参加していただいていることである。学校運営協議会などで放課後子ども教室の活動を広げていくなど、子ども中心の体制を整える仕組みを作っていくだろうか。また、放課後子ども教室未実施校には、まずは放課後子ども教室の現状を伝えたらどうか。

○事務局

いただいた御意見は後押しとなる。三川キッズなど、コミュニティセンター等で実施している活動と連携が可能な生涯学習課と検討したい。学校運営協議会の体制もあると思うが、できるところから検討していきたい。

○委員

子どもたちは、それぞれ放課後児童クラブと放課後子ども教室にお世話になった。放課後児童クラブでの生活に加えて、放課後子ども教室の活動日は体を動かしてきた。活動には友達を誘って楽しく参加している。

○委員

浅羽南小放課後子ども教室のスタッフには、更生保護女性会の方々も加わっていただいている。登録スタッフは約20人であるが、毎回の活動には7～8人が支えている。今年度は、活動担当者をメインとサブに分けて担っていただいた。また、浅羽南小体育館を借用したスポーツ推進委員による運動も好評であった。放課後子ども教室に参加していた子どもたちが高校生となり、「おばさん！」と声をかけてくれることがとてもうれしい。

○委員

水曜日を除く日は、下校時刻が学年により異なり、放課後児童クラブでの過ごし方も学年ごとになる場合もあるため、放課後児童クラブにとっては一斉下校日の水曜日はとても貴重な日である。放課後児童クラブとしては、水曜日に誕生会やけん玉検定などを実施したい。

○委員

子どもはコミュニティを育ててくれる。放課後は学校教育の延長にあってはならないと思う。子どものストレスの発散の場であって欲しいが、放課後子ども教室のスタッフはどのように担っていただいているのか。65歳で引退する皆さんがこのような活動に参加して地域コミュニティを支えていけるよう、Taskaru(タスカル)ネットワークなどを活用できないか。

○事務局

放課後子ども教室は、地域の皆様による有償ボランティアにより担っていただいている。放課後児童クラブについては、Taskaru(タスカル)ネットワークを通して、生きがいつくりにつながるような働き方をされている方もいる。

○委員

放課後児童クラブと放課後子ども教室のそれぞれの事業について、主任児童委員の会議の場で周知していただけないか。まずはどのような活動か見学し、委員としてできることから行動したい。

○事務局

主任児童委員の会議で周知の場を設けていただくようしあわせ推進課と協議する。

○副委員長

子どもと接すると大人も元気になる。異学年で遊べる場は中々ない。放課後児童クラブと放課後子ども教室が今後も引き続き連携していけるよう支援していきたい。

○委員長

さまざま意見があった。子どもと一緒に活動したいという保護者もいると思う。三川キッズの件など他課との関わりやコミュニティセンターを核にして、いろいろな角度から検討していけたらいいと思う。

【その他】

地域学校協働本部について（事務局説明）

質疑・意見なし